

## 事業概要書

事業名	令和3年豪雨水害復旧事業—子どもたちへ途切れずサービスを提供するために				
開始日	2021年9月10日	終了日	2021年11月30日	日数	82日
団体名 (カウンターパート)	NPO ガラパゴス (児童支援事業所ガラパゴス) / 株式会社 RIGHT PLACE				
担当者名	小柳由加里 / 木須亮太	スタッフ人数	15人		

事業費総額 (税込)	882,896 円
CF 事業枠	882,896 円
その他資金	0 円

事業目的	被災して活動を休止していた『児童支援事業所ガラパゴス』が仮拠点で事業再開することにより、子どもたちに途切れることないサービスを提供し、子どもたちの居場所を確保することで一日も早い地域の復興に貢献する。
事業全体の概要	<p><b>●児童支援事業所ガラパゴスとは</b></p> <p>佐賀県武雄市の児童支援事業所「ガラパゴス」は、6歳から18歳までの障がい特性を持つ子どもたちのための放課後等デイサービス事業を行う施設で、2019年4月に開所。学校から事業所、自宅までの送迎や、個人に合わせたトレーニングプログラムなどを提供しており、発達障がいや自閉スペクトラム症などのある子どもたち25人が利用している。どのような障がいがあっても受け入れるというモットーで、ほかの施設でも受け入れを拒まれるケアが難しい子どもも通う、地域での「最後の砦」とされている重要な施設である。子どもたちの将来を見据えて生き抜く力を養う徹底したサポートを行っている。</p> <p>またより多くの子どもたちを受け入れるために、2021年4月に2カ所目となる佐賀県基山町にも「ガラパゴス」を開所。</p> <p><b>●取り組むべき課題</b></p> <p>ガラパゴスは2019年8月の大雨で1m以上浸水し、家具やパソコンなどの事務機器、送迎用車両などが泥水に浸かり使えなくなったが、自力の借入れ、ボランティアや支援団体の支援等により同年11月に事業を再開した。しかし2021年8月11日から降り続いた豪雨で、施設は14日には1.5mほどの浸水被害にあった。送迎用の車両は事前避難をしていたため無事だったが、施設内の備品、電化製品、玩具、本などすべて浸かり2年前に続く2度目の被害となった。短期間での2度の被災により、事業所の復旧を自団体のみで行うことは困難な状況である。</p> <p>子どもたちにとってガラパゴスは、自身の能力を伸ばし、安心して過ごせる居場所である。保護者にとっても家族のみで障がいを持つ子どものケアを行うことは負担が大きく、貴重な相談先である。たった数日の被災による休園でも、見守りや相談相手がなく</p>

なる子どもたちとその保護者にとって、「ガラパゴス（居場所）」がなくなったことへの心理的、肉体的な負担は大きい。環境が変わったことで以前は落ち着いてできていたことができなくなった子どももいる。また子どもたちが家にいる時間が増えることで、被災した保護者は自宅や地域の片付け、復旧活動を行う時間を確保することが難しい。一日も早い子どもの受け入れを実現することが喫緊の課題であり、被災施設の片付けと新拠点設立に向けた資金調達、準備も同時並行ですすめる必要がある。

今後の資金調達に関しては既に複数の地元団体から物資等の支援を受けているほか、今後は企業支援やクラウドファンディングを募る。児童福祉法に基づく公的支援だけではない資金を得ることで、事業所復旧のための整備とともに継続的な活動を行うための体制づくりを行う。

### ●パートナー協働プログラム対象事業

#### ① 仮施設でのサービス再開

浸水被害を受けた8月14日以降、2日間の休園を余儀なくされたが、子どもたちの居場所を確保するため、武雄市から車で片道1.5時間の場所にあるガラパゴス基山で緊急受け入れを行っている。ただ、十分にスペースが確保できないこと、移動時間が長いことから子どもたちへの負担を減らすためにも、武雄市にて一日も早い仮拠点の事業再開を目指す。

仮拠点は佐賀県立武雄青陵中学の使用されていないOA教室を当面借り受ける。環境の変化に敏感で混乱してしまう子どもたちのケアに必要な環境整備のため、視聴覚設備（テレビとDVDプレイヤー）の手配、天気の悪いときにも室内で体を動かすための器具（体幹を鍛える遊具、知育教材など）とともに、事務作業を再開させるためのパソコン、プリンターやシュレッダーも手配する。購入した資機材は仮拠点だけでなく、今後の新拠点でも継続して活用予定である。

急激な環境変化に耐えられない子どもについては、ガラパゴス基山から、時間をかけて徐々に仮施設に移行させる必要があり、職員がひとりひとりに合わせて非日常にあってもより日常に近いサービスの提供を目指す。

#### 【スケジュール】

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 8月30日（月）～31日（火）  | 仮拠点視察、決定    |
| 8月30日（月）～9月3日（金） | 仮拠点準備       |
| 9月6日（月）          | 仮拠点でのサービス開始 |
- ※サービス開始後も引き続き備品購入など整備継続

### ●期待される効果

仮拠点でのサービス提供開始により、子どもたちの日常が取り戻され家族の負担の軽減と復旧活動の促進につながる。

事業内容(事業種別 (コンポーネント) ごと)	裨益者 (誰が、何人)
① 仮拠点でのサービス再開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚設備 (テレビと DVD プレイヤー) の手配</li> <li>・室内で体を動かすための器具 (体幹を鍛える遊具など) の手配</li> <li>・事務作業を再開させるためのパソコン、プリンターやシュレッダーの手配</li> <li>・緊急受入先のガラパゴス基山から仮拠点への移行 (一部送迎の継続)</li> </ul>	子どもたち 25 人とその家族、地域住民